

令和七年度事業報告

1、教化研究会議

【1】第五十八回中央教化研究会議

期 日 令和七年十月二日（木）～三日（金）

会 場 日蓮宗宗務院

テーマ 改めて「信」を問う

参加者 一〇六名

開催趣旨（開催要綱原文のまま）

〈改めて「信」を問う〉とは、私たちがどのよう
に釈尊・日蓮聖人の教えに向き合っているかを
問う事です。日蓮聖人は戒定慧の三字を慧に集約
され、その慧を信によって代えることができる
と、「信」の重要性を位置づけています。

しかし、すべての僧侶が必ずしも信仰体験を経
て出家・得度しているとは限りません。日蓮門下
としてさまざまな「信」のあり方を模索し、悩み
や矛盾を感じながら生きている僧侶も多くいます。

個人的な宗教体験はその人の「信仰」を作りあげ
る要素の一つともなりえますが、一方で、信仰の
あり方は多樣的であり、他者の信仰観を強制され
たくないという思いを持つ教師もおられるでし
う。

こうした状況の中で、今、「信」とは何か、「信
仰」とは何かを改めて問うことを目的として、今
回の教研会議を開催致します。

基調講演として、宗教学者石川明人先生による
「人にとって宗教とは、信仰とは」と題する講演
を賜り、続いて赤堀正明現宗研所長より「起信の
教」と題する講演。その後に分散会と全体会議を
開催します。

開催方式

①基調講演「人にとって宗教とは、信仰とは」

石川明人先生（桃山学院大学社会学部教授）

②基調講演「起信の教」

赤堀正明（千葉県常不軽寺住職・現宗研所長）

③テーマに沿った分散会を設置、それぞれに座長・副座長を設ける。

④全体会議（座長ディスカッション）

⑤後日、各分散会の座長による報告を聞き、テーマ「改めて「信」を問う」にまとめた。講演及び分散会の概要は『宗報』令和八年二・三月号、詳細は『現代宗教研究』第六十号に収載。

【2】教区教化研究会議

十一教区にて開催。日時・テーマは次の通り。

●第四十八回中四国教区教化研究会議

（三分散会・全体会議）

令和七年六月十六日～十七日

山口県 山口グランドホテルにて開催

テーマ「人口減少社会での寺院運営を考える」

基調講演「寺院統廃合の現状」

根元康秀（千葉県神宮寺修徒・日蓮宗

宗務院寺院僧籍課長）

●第四十三回九州教区教化研究会議

（三分散会「年代別」・全体会議）

令和七年六月十六日～十七日

宮崎・鹿児島・沖縄県 ホテルメリージュにて開催

テーマ「いのちに合掌」

基調講話「日蓮宗女性教師を取り巻く現状と課題
～「映し鏡」としての女性教師像の変化～」

丹羽宣子（立教大学コミュニティ福祉

学部助教）

●第四十五回北海道教区教化研究会議

（五分科会・全体会議「意見交換会」）

令和七年八月二十八日

北海道南部 ホテルライフォート札幌にて開催

テーマ「進む無葬化 求められる寺院・僧侶と

はーマンダラチャートで探る、寺院の

未来像――

基調講演「葬式仏教正當論」

鈴木隆泰（東京都善應院住職・現宗研

特別研究員

第一分科会「教師が理想とする葬送には、何が

必要か」

第二分科会「私たちが、送りたいと思う葬送

には、何が必要か」

第三分科会「理想の僧侶・寺院となるためには、

何が必要か」

第四分科会「理想の僧侶・寺院となるためには、

何が必要か」

第五分科会「社会からの期待に応える寺院にな

るには、何が必要か」

●第五十五回近畿教区教化研究会議

(三分散会・全体会議)

令和七年九月三十日

大阪府和泉 堺市妙國寺にて開催

テーマ「地域で〈生き生き〉生きるお寺へ」

『苦に出会いなおす』ことのできるこ

と」

基調講演「地域で〈生き生き〉生きるお寺へ」

『苦に出会いなおす』ことのできるこ
と」

大河内大博（浄土宗願生寺住職・訪問

看護ステーションさつとさんが願生寺

共同代表・チャプレン）

●第四十七回中部教区教化研究会議

(七分散会・全体会議)

令和七年十月十日

愛知県名古屋 ウィンクあいちにて開催

テーマ「死にゆく者を看取る家族に寄り添う」

臨床宗教師の視点から」

基調講演「死にゆく者を看取る家族に寄り添う」

臨床宗教師の視点から」

森田敬史（龍谷大学大学院実践真宗学

研究科教授・臨床宗教師）

鼎談（質疑応答）

森田敬史

村瀬正光（愛知県大光寺住職・教研運営委員）

高鍋鳳憲（愛知県立正寺住職・教研運営委員）

●第四十二回東北教区教化研究会議

(三分散会・全体会議「質疑応答」)

令和七年十月三十日(三十一日)

秋田県 秋田キャッスルホテルにて開催

テーマ「これからの葬送を考えるー弔いの多

様化に僧侶はどう向き合うかー」

事例報告①「海洋散骨の現状からー寺院・僧侶に

求められるもの」

森下恵王(宮崎県立正寺修徒・現宗

研究員)

事例報告②「誰にも頼れない時代の支援モデルー

お寺が喪主を担うという選択ー」

高野光尊(長崎県本立寺修徒)

講 演「日本の葬送はどこに向かうのか？」

ー葬送多様化の傾向と対策ー

薄井秀夫(株式会社寺院デザイン代

表取締役)

●第四十一回北陸教区教化研究会議

(八分散会・全体会議)

令和七年十一月四日

新潟県北部 長岡グランドホテルにて開催

テーマ「大人の発達障害を知るー発達障害を通

じた人間理解ー」

基調講演「大人の発達障害ー発達障害を通した人

間理解ー」

竹内一夫(長岡中央総合病院 小児科

専門医・周産期専門医)

●第四十九回山静教区教化研究会議

(十分散会「ワークショップ」・全体会議)

令和八年二月十八日

山梨県第三部 身延山大学にて開催

テーマ「地方寺院の現実ーお寺とは何か？何を

〈諦める／遺す〉のかー」

研究発表「山梨県内の寺院・教師実勢データと分

析」

甲斐元浩(山梨県浄蓮寺住職・山梨県

第三部宗務所宗務事務長)

基調講演①「日蓮宗グランドデザインについて」

池上要靖（山梨県智寂坊住職・日蓮

宗長期総合計画策定PT員）

基調講演②「寺院の現状とこれから」

木村共宏（浄土真宗本願寺派報恩寺

住職・築地本願寺副宗務長・未来の

住職塾NEXT講師）

パネルディスカッション

「パネリスト」

木村共宏

池上要靖

甲斐元浩

「司会・コーディネーター」

近藤玄純（山梨県妙福寺住職・一般財団法人

SOCIAL TEMPLE代表理事）

●第五十回京浜教区教化研究会議

（六分散会・全体会議「パネルディスカッション」）

令和八年二月二十四日

東京都南部 朗峰会館にて開催

テーマ「これから日蓮宗の僧侶になる子弟の

ため、志す人のために 信行道場修

了まで、私たちができること、考えること」

基調講演①「日蓮宗の教育を考えよう―信行道場

を中心として―」

雨宮通一（山梨県成妙寺住職・日蓮

宗宗務院教務部教育課長）

基調講演②「法器育成の現場から」

伊東泰樹（神奈川県常照寺寄在・日

蓮宗宗立学寮寮監）

基調講演③「はじめての僧堂―教育機関の現場―」

坂井是真（福井県妙智寺住職・令和

六年度第一期信行道場訓育副主任）

パネルディスカッション

「パネリスト」

雨宮通一

伊東泰樹

坂井是真

「司会・コーディネーター」

菅野龍清（東京都浄延院住職・現宗研主任）

●第四十二回千葉教区教化研究会議

（全体会議「質疑応答」）

令和八年二月二十四日

千葉県東部 京成ホテルミラマールにて開催

テーマ「寺院消滅時代 現代の寺院経営を考え

る」現代寺院運営の観点から見る布教

実践とは？」

基調講演「寺院消滅時代 現代の寺院経営を考え

る」現代寺院運営の観点から見る布教

実践とは？」

近藤玄純（山梨県妙福寺住職・一般財

団法人SOCIAL TEMPLE 代表理事）

●第三十二回北関東教区教化研究会議

（全体会議「質疑応答」）

令和八年二月二十六日

茨城県 ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸にて開催

テーマ「寺院運営上の法律知識」各種トラブル

を防ぐために」

基調講演「寺院運営と令和の法律」質問形式によ

るトラブル予防の為の対策」

長谷川正浩（愛知県蘇東教会前担任・

日蓮宗顧問弁護士）

【3】 教化学研究集会

●北海道東部管区教化学研究集会

（全体会議「意見交換会」）

令和七年十一月六日

北海道東部 釧路市法華寺にて開催

テーマ「現代を生きる僧侶の学び」

基調講演「現代を生きる僧侶の学び」

赤堀正明（千葉県常不軽寺住職・現宗

研所長）

【4】 連絡会議

●教区教化研究会議連絡会議

令和七年五月二十二日

Web会議サービスZoomにて開催

内容 ①教区教研運営の件

②助成金の件

③ 中央教研の件

④ その他

● 教化センター連絡会議

令和七年五月二十三日

Web会議サービスZoomにて開催

内 容 ① 各センター活動報告・活動計画の件

② 助成金の件

③ 中央教研の件

④ その他

2、研究・調査活動

【1】プロジェクトチーム

下記の各プロジェクトチームにおいて、それぞれ研

究・調査を進めた。

● 教研会議PT（古河良啓・村上慧香・中井本蓉・

松井大宗各研究員、灘上智生・加藤彰晃・藤崎善

隆・石原顕正・河崎俊宏・柴田章延各嘱託）

● 年次年表作成会議（小高純華研究員、坂輪宣政嘱

託、鈴木宏彰・望月康寿）

● ITプロジェクト（中村龍央・成田東吾各嘱託）

● 寺院環境調査PT（小高純華・松井大宗・水谷進

良・高野光拡・齋藤宣裕各研究員、中村龍央・成

田東吾・原一彰各嘱託、森光寛）

● グリーフケアPT（吉木祥介・齋藤宣裕・本間文

裕各研究員、菊岡妙光嘱託、高松由華・星光照）

● 仏教とジェンダーPT（村上慧香・中井本蓉・森

下恵王各研究員、横山正見・成田東吾各嘱託、三

井妙真・丹羽宣子）

● 寺院備災研究PT（石原顕正・中村龍央・松森孝

雄・成田東吾各嘱託）

● 新宗教PT（水谷進良・高野光拡各研究員、櫻井

義秀・伊藤瑞康各特別研究員、柴田章延嘱託、服

部功志・楠山泰道）

● 葬送儀礼研究PT（古河良啓・内藤善之・吉木祥

介・中村宣悠各研究員、鈴木隆泰・伊藤瑞康各特

別研究員、坂輪宣政・灘上智生・河崎俊宏各嘱

託）

● 日蓮門下伝説集成PT（堀田泰寛・庵谷行遠・水

谷進良・森下恵王各研究員、岡田文弘特別研究員)

●不活動法人調査PT (堀田泰寛・森下恵王・齋藤宣裕各研究員、中條曉仁特別研究員、中村龍央・成田東吾各嘱託)

●他教団記念事業調査PT (古河良啓・内藤善之・吉木祥介・中村宣悠各研究員)

●研究例会 (小高絢華・古河良啓・村上慧香・佐藤妙晃・中井本蓉・内藤善之・松井大宗・堀田泰寛・庵谷行遠・水谷進良・菊岡妙光・吉木祥介・高野光弘・森下恵王・齋藤宣裕・中村宣悠・本間文裕各研究員、鈴木隆泰・中條曉仁・櫻井義秀・間宮啓壬・岡田文弘・伊藤瑞康各特別研究員)

●嘱託例会 (及川一晋・坂輪宣政・灘上智生・横山正見・中島信吾・加藤彰晃・藤崎善隆・山内寛久・石原顕正・河崎俊宏・中村龍央・松森孝雄・菊岡妙光・柴田章延・都泰雄・成田東吾・原一彰各嘱託)

●顧問会 (古河良皓・蓑輪顕量・北山孝治・三原正

資各顧問

【2】第二十六回日蓮宗化学研究発表大会

令和七年十一月二十八日

日蓮宗務院にて開催

研究発表

「海洋散骨を中心とした状況とその是非について」

森下恵王 (宮崎県立正寺修徒・現宗研究員)

「網脇龍妙上人の深敬主義と『いのちに合掌』について―身延深敬病院の創設―」

奥田正叡 (京都府常照寺住職)

「布教の現場における〈シンボル〉としての曼荼羅の役割について―デュルケームの集合的沸騰論から」

小池政之 (静岡県長福寺住職)

「ひかりはたもち、その電燈は失はれ ―『あの世』は、今―」

三原正資 (広島県妙長寺住職・現宗研顧問)

「いのちの尊さを伝えて ―被爆体験伝承活動の歩み―」

渡部公友 (広島県本覚寺住職)

「『身延鑑』から探る七面大明神の正体」

玉木晃仁（山形県日朝寺住職）

「災害時における通信網の確保」アマチュア無線の有効活用」

松森孝雄（和歌山県龍光寺住職・現宗研嘱託）

「廃仏毀釈以後、遠壽院荒行堂はなぜ存続できたのか――歴史年表から見る加行所・相伝の変遷について――」

影山教俊（千葉県釋迦寺住職）

「日蓮門下における本尊授与をめぐって」

水谷進良（大阪府新福寺修徒・現宗研研究員）

【3】研究例会

●研究員が各自のテーマに沿って研究発表を行った。

発表テーマと発表者は次の通り。

○「寺院における『働き方』に関する一考察」

高野光拡

○「宗教二世問題―何が信仰継承・宗教家族の困難を生み出すのか」

櫻井義秀

○「体内体外と円体無殊」

庵谷行遠

○「AIがもたらす僧侶の本質的価値の再定義について」

森下恵王

○「宗学論の一考察」

古河良啓

○「亀茲における釈尊の外道調伏画について」

内藤善之

○「日蓮教学における生者・死者の成仏と供養」

中村宣悠

○「SNSの変化と活用事例の紹介」

松井大宗

○「日蓮門下における本尊授与をめぐって」

水谷進良

○「活力あるお寺であり続けるために―シアトル別院（浄土真宗）より学ぶ」

村上慧香

○「現代日本の仏教寺院における祭礼の変容―龍光寺の牡丹餅講を事例として」

小高純華

○「経典にみる死別とグリーフ」

吉木祥介

○「生成AIの普及に伴う『AI崇拜』現象に関する考察」

堀田泰寛

○「臨床仏教師制度の現状について」

齋藤宣裕

○「廻国供養塔の造立と背景について」

本間文裕

○「Blum Army Chief、チャンドラシェーカー・アーザードについて」

中井本蓉

【4】特別講演

●令和七年五月二十七日 日蓮宗宗務院にてハイブリッド形式で開催

テーマ「これまでの月参り研究の概要と経緯―失われゆく月参りの実態把握を目指して―」

小川有閑（浄土宗蓮宝寺住職・大正大学地域構想研究所・BSR推進センター主幹研究員）

【5】各種調査

●四月二十九日、大阪府叡福寺に於いて、宗祖の霊跡・伝説に関わる現地調査を行った。

●五月二十日、長野県松代町に於いて、宗祖の霊跡・伝説に関わる現地調査を行った。

●五月二十八日、千葉県市川市に於いて、宗祖の霊跡・伝説に関わる現地調査を行った。

●六月七日、奈良県常照寺に於いて、宗祖の霊跡・伝説に関わる現地調査を行った。

●六月十三日、高野山五坊寂靜院に於いて、宗祖の霊跡・伝説に関わる現地調査を行った。

●九月九日、埼玉県妙心教会に於いて、中山妙宗に関わる聞き取り調査を行った。

●十月八日、大田区立郷土博物館に於いて、所蔵する日蓮宗寺院の宝物・古文書等に関わる現地調査を行った。

●十一月十九日、大本山中山法華経寺に於いて、中山妙宗に関わる聞き取り調査を行った。

●令和八年一月二十一日、上野寛永寺・天台学大辞典編纂室に於いて、日蓮宗事典編纂のための予備調査を行った。

●令和八年三月二十四日～二十五日、山梨県に於いて、宗祖の霊跡・伝説に関わる現地調査を行った。

3、出版・資料収集

【1】『現代宗教研究』第六〇号を編集し、発行した。

【2】教団史研究資料の一つとして、各種資料より『令和六年日蓮宗年表』を作成し、配布した。

【3】現代教化シリーズ四『GRANTHA』を編集し、発行した。

【4】『日蓮宗僧侶のための葬儀読本』を編集し、発行した。

【5】新宗教関係資料を収集し、保管した。

【6】各種伝道教化に関する資料を収集し、保管した。

【7】伝道・教化・研究に必要な図書を購入した。

【8】今年度購入・寄贈図書の蔵書整理とデータ作成を行った

4、研究交流・会議

●三月二十九日、駒沢大学駒沢キャンパスにて「第九回 仏教教育学研究会 デジタル社会と仏教教育」に出席。

●四月十一日、しんらん交流館・大谷ホールにて「二〇二五年度中外日報社宗教文化講座 第一回 現代における巡礼の意義」西国三十三所観音霊場を歩む」に出席。

●四月二十四日、オンラインにて「第一回時局問題検討委員会」に出席。

●五月二十四日、京都大学吉田キャンパスにて「二〇

二五年度 日本近代仏教史研究会研究大会」に出席。

●六月四日、パシフィコ横浜にて「フューネラルビジネスフェア二〇二五」に出席。

●六月七日、キャンパスプラザ京都にて「仏教文化公開講座『KYOTO』」に出席。

●六月七日、武蔵野大学武蔵野キャンパスにて連続公開講座「現代の宗教性に適用するアメリカ仏教―日本仏教の刺激となるか?」に出席。

●六月十日、大本教東京本部にて「教団付置研究所懇話会 宗教間対話研究部会」に出席。

●六月十一日、大阪府四天王寺本坊にて全日本仏教会人権問題連絡協議会講演会「人権問題からみる過去帳」に出席。

●六月十四日、愛知学院大学名城公園キャンパスにて「第八十九回宗教学会」に出席。

●六月十八日、龍谷大学にて龍谷大学世界仏教文化研究センター研究セミナー「過疎地のお寺と向き合う」『いま』と『これから』をみすえて」に出席。

●六月十九日、珠洲市正院町第一団地集会所にて「石

川二部復興地域心のケア『傾聴カフェ』」に出席。

(グリーンケアPT)

- 七月一日、オンラインにて「二〇二五年度 第一回クイア仏教学研究会 仏教教団をジェンダー平等の視点から考える」に出席。

- 七月二日、オンラインにて仏教NGOネットワーク講演会「近代日本における仏教教団の戦争協力」に参加

- 七月六日、身延山久遠寺報恩閣にて記念講演会「法華経の語り部たち」に出席。

- 八月二十九日、龍谷大学にて「二〇二五年度 第二回 クイア仏教学研究会 トランスジェンダー当事者住職からみた仏教」に出席。

- 九月六日～七日、大阪大学豊中キャンパスにて「日本印度学仏教学会 第七十六回 学術大会」に出席。
- 九月六日～七日、東京立正短期大学にて「日本仏教社会福祉学会」に出席。

- 九月十一日、有明GYMEXにて「エンディング産業展二〇二五」に出席。

- 九月十五日～十六日、上智大学にて「日本宗教学会 第八四回学術大会」に出席。

- 九月十九日、京都テルサにて「二〇二五年度中外日報社宗教文化講座 第三回 しあわせ眼鏡×仏教という人生の道しるべ」に出席。

- 九月二十七日、オンラインにて「仏教伝道協会設立六〇周年記念シンポジウム だいすき仏教」に出席。
- 十月三日、オンラインにて「第十五回善知識研究会アーカイブスの現状と課題 ―最新AI技術の活用を視野に入れて―」に出席。

- 十月十一日、オンラインにて「二〇二五年度『生と死』シンポジウム 死と生のあわい」に出席。

- 十月十六日、天台宗務庁にて「教団付置研究所懇話会 第二十三回年次大会」に出席。

- 十月二十日、増上寺明照会館にて「第三十六期 第六回 社会・人権審議会」に出席。

- 十一月一日、オンラインにて「武蔵野大学仏教文化研究所 特別公開講座 仏教―世界への飛翔― 特別講演会 空海研究をグローバル化する」に出席。

●十一月二日、武蔵野大学にて「武蔵野大学仏教文化研究所 シンポジウム 仏教―世界への飛翔―」に出席。

●十一月十六日、身延山久遠寺大客殿にて「身延山共栄との会 令和七年度 特別文化講座」に出席。

●十一月十八日、身延山大学にて「令和七年度身延山大学 公開講演会 なぜ今、グリーンフケアが必要なのか」に出席。

●十一月十八日、浄土宗教化研修会館にて「第五十回 浄土宗総合研究所シンポジウム これからの法話を考える ―守るべきこと、変えるべきこと―」に出席。

●十一月二十日、大正大学にて「二〇二五年度総合仏教研究所 特別講座 第七回 『うき世』の思想」に出席。

●十一月二十二日、すみだ郷土文化資料館にて「よみがえる名所 押上最教寺の世界 ―かえってきた仏像たち―」及び「関連講座 かえってきた仏像たち ―天松山最教寺調査の成果から―」に出席。

●十二月一日、増上寺明照会館にて「第三十六期 第七回 社会・人権審議会」に出席。

●十二月四日、大正大学にて「二〇二五年度総合仏教研究所 特別講座 第八回 近代人と死生観（i）」に出席。

●十二月十八日、大正大学にて「二〇二五年度総合仏教研究所 特別講座 第九回 近代人と死生観（ii）」に出席。

●十二月二十一日、立教大学にて「日本学術会議 公開シンポジウム 分断化する社会の中で対話は可能か ―ポスト・ソーシャルメディア時代の社会構築―」に出席。

●令和八年一月十一日、武蔵野大学にて「第六六回 武蔵野大学日曜講演会 インド仏教の失われた経典について」に出席。

●令和八年一月十五日、大正大学にて「二〇二五年度総合仏教研究所 特別講座 第十回 死とどう向き合うか？」に出席。

●令和八年二月十一日、龍谷大学にて「二〇二五年度

第三回 クィア仏教学研究会 浄土教思想とLGBTQ+

―女身往生説の解釈をめぐる―」に出席。

- 令和八年二月十六日、増上寺光猷殿にて「第五十一回 浄土宗総合研究所シンポジウム 仏教の魅力再発見」に出席。

- 令和八年二月二十日、別院真福寺にて「智山伝法院特別講習会 僧侶の結婚・家族」に出席。

- 令和八年二月二十七日、オンラインにて文化庁宗務課説明会「宗教法人格不正利用のための実態把握事業の周知等について」に出席。

- 令和八年三月七日、東京大学にて「二〇二五年度国際宗教研究所 公開シンポジウム 地域で／地域からチャレンジする宗教者」に出席。

- 令和八年三月十一日、東京国際フォーラムにて「第三十六回法華宗教学研究発表大会」に出席。

- 令和八年三月十六日、オンラインにて「二〇二五年度過疎問題連絡懇談会」に出席。